

Yuki Special night

Spooky time

Halloween

のぼり

古代ケルト人の「サウィン祭」

が始まり??

古代ケルト人の1年は10月31日で終わりました。彼らはこの日を夏の終わり、そして冬の始まりの日として1年の区切りにしていました。秋の収穫を祝うこの日の夜には、親族を訪ねて先祖の霊が帰ってくると同時に、魔女や悪霊も作物を狙って現れると考えられていました。10月31日から11月1日をまたぐ夜、ケルト人の中では「他界」との門が開き、「この世」と「あの世」の境目がなくなると信じられていたのです。彼らは先祖たちの霊を迎えると同時に悪霊たちから身を守るため、魔除けの仮面を被り、魔除けの焚き火を焚いて盛大に祭ったと言われています。(Wikipedia)

このお祭りが後世に伝わって様々な文化と混ざり合い、現代のハロウィンになったと言われています。日本でイメージするなら、先祖を迎える日本のお盆と近いという外国人たちもいます。

都会のハロウィン混乱を止めるには・・・Naomiはこう思う!!

ルールを決めて楽しめばいい。例えば、ハロウィンパレードをしてしまう。だって、マラソンも近年人気ですが、参加者も距離も場所も決まっているので混乱しないし、皆が参加も応援も楽しめていますよね。

ニューヨーク・ヴィレッジ・ハロウィン・パレード (New York's Village Halloween Parade) は、毎年ハロウィンの日にニューヨークで行われる世界最大規模のハロウィンの仮装パレードである。1974年に始まったイベントは、夜7時にグリニッジ・ヴィレッジ付近をスタートし、6番街を中心とした決められた経路を1マイル以上にわたって練り歩く。(http://kisha-poppou.com/about-6/)

ニューヨークの例を参考にボランティアを募ってやれば、皆が楽しめるのではないかと思います。

さてさて、話は自分たちに戻り、27回目のモアのハロウィンも今年も大盛り上がりで終わりました。皆様いかがでしたでしょうか。思い思いの仮装を準備してくださり、今年の『猫屋敷』のテーマに合わせて猫ちゃんが多かったのも今年の特徴になりました。やっぱりハロウィンは楽しいですね。

楽しいだけで終わらせないのがモアです。今年は、meow meow クイズと名付けたものがなかなかのヒットでした。単語の最初の文字だけ見せて、あとは meow meow に置き換えたイントネーションだけで答えを当てるというゲームでした。この少ないヒントだけを頼りにして活発にあてに行くのがモアの生徒です。その前向きさや挑戦心には脱帽です。夏のフォニックスも効果を出していることがわかりました。

また、せなけいこ作の『ふうせんねこ』の英語版をさらにアレンジして、本当に風船猫が空を飛ぶという演出をしました。日本の名作児童絵本がハロウィンテイストで驚きの結末でした。

この二つのアクティビティをしながら考えたのですが、やはり皆が納得したルールの中で安全にまた平等に楽しむことが最低限必要な条件だなあ～と思いました。都会で羽目を外す大人たちとそれをコントロールできない社会に、『やり方はいろいろあるよ!!』と言いたい気分でした。

ということで、今年もルールを守り、限られた時間と空間の中で最大限に楽しんでくれたかわいい(中にはちょっと大きな子供たちもいましたが)生徒さんたちに、また準備から一緒にご協力いただいたご家族様に感謝いたします。毎年皆様のご協力あつてのハロウィンです。



11月19(月)~24(金)

は感謝祭休み

1週間お休みしよ。

おしくニャン!!

おんね
ごめいば〜!!

Kazusa

2018

カルタもスタートしよ〜。
お休み(TGH)あけお
スタートおニャン!! おの
しかに〜!

こゆくてたのしい。

Aya

モアのハロウィンすごいですね〜

